

都市再生整備計画 事後評価シート

岐阜都心地区

平成27年2月

岐阜県岐阜市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県	市町村名	岐阜市	地区名	岐阜都心地区			面積	725ha
岐阜県岐阜市	平成21年度～平成25年度	事後評価実施時期	平成25年度	交付対象事業費	9,516百万円	国費率	0.38		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名												
		基幹事業	【道路】金華地区(ゆとり・やすらぎ道空間)、京町・明徳地区(安心歩行エリア整備事業)、岐阜駅那加線(街路)、電線共同溝(蕨城町玉宮町線)【地域生活基盤施設】長良川うかい広場施設整備事業、岐阜公園広場整備事業、岐阜駅西自転車駐車場整備事業【高質空間形成施設】道路修景整備事業、長良川プロムナード(右岸)整備事業、金公園拠点広場整備事業、岐阜公園スロープ整備事業【高次都市施設】長良川うかい広場施設整備事業				【まちづくり活動推進事業】まちなか文学散歩プロジェクト推進事業、まちの魅力づくりプロジェクト推進事業、建替相談システム事業、柳ヶ瀬再生支援事業、岐阜駅周辺地区開発・整備促進事業【地域創造支援事業】岐阜大学医学部等跡地整備計画作成、無電柱化事業、建物移転補償事業、駅周辺にぎわい拠点施設整備事業、信長公居館跡活用方針策定事業【事業活用調査】事業分析調査							
			提案事業	【まちづくり活動推進事業】まちなか文学散歩プロジェクト推進事業、まちの魅力づくりプロジェクト推進事業、建替相談システム事業、柳ヶ瀬再生支援事業、岐阜駅周辺地区開発・整備促進事業【地域創造支援事業】岐阜大学医学部等跡地整備計画作成、無電柱化事業、建物移転補償事業、駅周辺にぎわい拠点施設整備事業、信長公居館跡活用方針策定事業【事業活用調査】事業分析調査										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【道路】岐阜駅那加線(街路) 【地域生活基盤施設】岐阜駅西自転車駐車場整備事業				【道路】鉄道との交差点にある狭い箇所の解消を図れないため、事業認可手続きに至らなかったため、岐阜駅那加線(街路)を削除した。 【地域生活基盤施設】交通システム整備事業に移行したため、岐阜駅西自転車駐車場整備事業を削除した。				【道路】岐阜駅那加線(街路) 事業効果の推定により、歩行者交通量に関する指標を下方修正した。 【地域生活基盤施設】岐阜駅西自転車駐車場 交通システム整備事業で実施したため、目標指標は変更しない。			
			提案事業	【まちづくり活動推進事業】柳ヶ瀬再生支援事業 【事業活用調査】事業分析調査				【まちづくり活動推進事業】1期計画で作成したVR等の機能向上を行う予定であったが、当初の仕様のままで商店街の支援業務を行うことができたため。 【事業活用調査】早期に事業効果を発現させるための事業調査を実施していたが、地区全体の事業の進捗が遅れ気味であったため、実施しなかった。また、事後評価業務の委託を取りやめたため、事業費が発生しなかったため、事業を削除した。				【まちづくり活動推進事業】1期計画の成果内容で支障なく事業を実施できたので、目標指標は変更しない。 【事業活用調査】目標指標には影響しないので変更しない。		
		新たに追加した事業	基幹事業	【公園】加納公園整備事業 【地域生活基盤施設】(仮称)憩いにぎわい広場整備事業、せせらぎ広場整備事業、明徳運動場広場整備事業 【高質空間形成施設】御館街道整備事業、岐阜大学医学部等跡地歩道空間等整備事業、岐阜駅南口エンター整備事業、SWC推進事業(ウォーキングコース整備) 【高次都市施設】学校統廃合等施設等整備事業(公民館)、(仮称)市民活動交流センター 【既存建造物活用事業(地域交流センター)】明徳公民館バリアフリー化事業				【公園】市民の健康づくりに資する公園施設を整備するため、加納公園整備事業を追加した。 【地域生活基盤施設】地域の回遊性を高め、市民の憩い、にぎわい交流拠点とするため、(仮称)憩いにぎわい広場整備事業、せせらぎ広場整備事業、明徳運動場広場整備事業を追加した。 【高質空間形成施設】都心回遊性の向上及び歩行者等の安全安心の確保のため、御館街道整備事業、SWC推進事業を追加した。また、新たに整備する施設周辺の道路整備のため、岐阜大学医学部等跡地歩道空間等整備事業を追加した。 【高次都市施設】市民活動を支援する中核施設として、図書館を併設する交流拠点を整備するほか、地区住民の相互交流、コミュニティ活動の拠点を整備するため、学校統廃合等施設等整備事業(公民館)、(仮称)市民活動交流センターを追加した。 【既存建造物活用事業】施設の改修に合わせ、段差の解消、交流スペースの拡大を実施するため、明徳公民館バリアフリー化事業を追加した。				【公園】加納公園内に新たに整備する運動施設の利用者数を新たな指標として設定した。 【地域生活基盤施設】(仮称)憩いにぎわい広場整備事業 【高質空間形成施設】岐阜大学医学部等跡地歩道空間等整備事業 【高次都市施設】(仮称)市民活動交流センター 【関連事業】暮らしにぎわい再生事業 一体で整備する複合施設の利用者数を新たな指標として設定した。		
	提案事業			【まちづくり活動推進事業】SWC推進事業(健康活動支援、ウォーキング啓発事業) 【地域創造支援事業】(仮称)中央図書館等整備事業、岐阜公園歴史文化施設整備事業、都心居住実現方策調査、学校統廃合等施設整備事業(中学校)、歴史的建造物群景観形成助成事業				【まちづくり活動推進事業】SWC特区関連事業として、都心回遊性の向上、歩行者の安全、安心の向上、市民の関心を高めるため、SWC推進事業を追加した。 【地域創造支援事業】まちなか居住の推進のため、方策の検討、住環境の課題解決に向けて、都心居住実現方策調査、学校統廃合等施設整備事業(中学校)を追加した。また、歴史的町並みの維持・形成を進め、歴史文化を生かしたまちづくりを進めるため、岐阜公園歴史文化施設整備事業、歴史的建造物群景観形成助成事業を追加した。				【地域創造支援事業】学校統廃合等施設整備事業(中学校)で整備する中学校について、従来は変則的となっていた通学区域を改善することで地域の教育環境を向上させること、関連施設耐震化により地域防災力の強化を図ることを新たに整備方針・目標に追加し、通学経路の改善状況を示す新たな指標を設定した。		
	交付期間の変更	当初	平成21年度から平成25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	—								
		変更	—											

4) 定性的な効果 発現状況	重要文化的景観の選定(文化審議会による選定の答申) 川原町界隈の歴史的建造物群景観形成助成事業による文化的景観の維持、長良川鵜飼ゾーンから金華山麓の金華地区などの江戸時代から残る町並みにふさわしい道路整備事業などを、実際に利用している住民の意見を取り入れながら実施したことが要因の一つとなり、地域住民との協働による「岐阜らしい景観」の保全につながり、地域住民の生活の基盤となっていることが評価された結果、文化庁の文化審議会による重要文化的景観の選定が実現した。(平成26年3月18日) 文化的景観の選定はこれまで全国43件行われ、東海地方では初となる。また、都市の景観としては、全国で3例目である。				
5) 実施過程の評価		実施内容	実施状況		今後の対応方針等
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた		—
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
	住民参加 プロセス	まちなか文学散歩プロジェクト事業やぎふメディアコスモス整備、玉宮地区の再編型整備事業の実施検討に際し、多くの住民参加を得た。また、道路整備や地域交流スペースなどの各事業の実施に向けた地元説明を行った。	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	まちなか文学散歩プロジェクト事業を含む中心市街地活性化推進事業については、引き続き、多様な活性化策を講じるよう、支援を継続(市単独事業)する。ぎふメディアコスモスや玉宮町地区の整備事業については、住民参加型の推進に努める。
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
	持続的なまちづくり 体制の構築	まちなか文学散歩プロジェクト事業への継続的支援により、住民主体の実行委員会が数多く開催され、住民主体で様々なまちづくり事業が展開された。また、ぎふメディアコスモスや玉宮地区の再編整備に向けた住民主体のワークショップや勉強会が発足し、今後の整備や整備後のにぎわいの創出に向けた検討体制を構築した。	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	まちなか文学散歩プロジェクト事業を含む中心市街地活性化推進事業については、引き続き、支援を継続し、住民主体の活動の継続を支援する。ぎふメディアコスモスや玉宮町地区の整備事業については、整備施設を住民主体のにぎわいの創出の場とすることで、持続的な活動になるよう促す。
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式2-2 地区の概要

[illegible]

まちづくり交付金 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

- 添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1－① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標	●		■市民の交流拠点整備や市街地再開発事業等により、まちなか居住の推進を図る。 ■（省略） ■（省略） ■（省略） ■記載なし	■市民の交流拠点整備や市街地再開発事業等により、まちなか居住の推進と中心市街地の活性化を図る。 ■（省略） ■（省略） ■（省略） ■公立小中学校の再編により教育環境を向上させ、併せて関連施設を耐震化し地域防災力強化を図る。	・岐阜市中心市街地活性化基本計画の区域拡大（H21.12.10変更認定）に伴い、中心市街地活性化を都市再生の目標に追記し、両計画を連係して推進していくため、同基本計画に掲載された主要な事業を都市再生整備計画に記載した。 ・地区内で課題となっていた教育環境の改善を都市再生のために必要な新たな目標に位置づけ、関連する事業を都市再生整備計画に記載した。
B. 目標を定量化する指標	●		(省略)	3指標を追加した。 (追加)公立中学校の平均通学距離 従前値 2.5km (H20) 目標値 2.0km (H25) (追加)岐阜大学医学部等跡地施設利用者数 従前値 48,700人 (H20) 目標値 570,000人 (H25) (追加)加納公園の利用者数 従前値 0 (H22) 目標値 18,000人 (H25)	・追加したまちづくりの目標の達成度判定のため、課題となっていた中学校の通学エリアの改善を測る指標として、平均通学距離を指標に追加した。 ・追加したにぎわいの拠点整備事業の効果を測る指標として、整備する二つの施設の利用者数を指標に追加した。
C. 目標値	●		■中心市街地区内居住者人口 従前値 6,665人 (H20) 目標値 7,800人 (H25) ■主要地点歩行者交通量 従前値 41,418人 (H18) 目標値 41,500人 (H25)	■中心市街地区内居住者人口 従前値 11,574人 (H20) 目標値 11,700人 (H25) ■主要地点歩行者交通量 従前値 41,418人 (H18) 目標値 41,030人 (H25)	・岐阜市中心市街地活性化基本計画の区域拡大（H21.12.10変更認定）に伴い、計測する中心市街地の範囲が拡大したため、目標指標を変更した。 ・道路事業 岐阜駅那加線（街路）の事業削除に伴い、同路線に近接の計測地点への影響を見込み、主要地点時歩行者交通量の目標値を修正（減少）した。
D. その他()					

添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	金華地区(ゆとり・やすらぎ道空間事業)	136	L=1,350m	171	L=2,090m 側溝、舗装工、一部歩道整備	・まちなか歩き構想の周遊ルートを整備するため、整備路線を追加。(第3回変更、第5回変更) ・事業の精査の結果、事業費を減額(第10回変更)	整備エリアを指定して事業を進めており、地域との意見交換をしながら順次整備路線の決定を行っており、変更内容はその整備エリアの範囲の追加であることから、数値目標等は変更しない。	●	
	京町・明徳地区(安心歩行エリア整備事業)	87	L=920m	30	L=260m 側溝、カラー舗装工	・事業計画の見直しの結果、通常の道路整備事業に位置づけを変更したため、整備路線を縮小した。(第2回変更)	整備内容の変更に伴い、都市再生整備計画以外の事業として実施したものであるため、数値目標等は変更しない。	●	
	岐阜駅那加線(街路)	1,100	L=640m	—	—	・鉄道との交差点にある狭い箇所を解消を図れないため、事業認可手続きに至らなかったため、事業を削除した。(第10回変更)	事業効果の推定により、関連する地点への影響を推定し、歩行者交通量に関する指標を下方修正した。	—	—
	蕪城町玉宮町線	235	L=710m	84	L=710m 電線共同溝整備 地下埋設管移設補償	・路線の一部について、関係者との調整に時間を要したため、設計のみ実施し、工事未完了のため、事業期間を短縮し、事業費を減額した。(第10回変更)	事業を次期計画で引き続き継続するため、数値目標等は変更せず、事業の進捗に合わせてフォローアップを行う。	継続	
公園	加納公園整備事業	—	—	916	1ha 用地補償10,440㎡ 少年サッカー場、管理棟、駐車場等	・市民の健康づくりに資する公園施設を整備するため、事業を追加した。(第5回変更) ・事業の精査の結果、事業費を減額した。(第10回変更)	市民交流、健康づくり機能の拡充に資する施設整備として、整備施設の利用者数を数値目標に追加した。	●	
地域生活基盤施設	長良川うかい広場施設整備事業	290	1.1ha	180	1.1ha 広場整備	・事業の精査の結果、事業費を減額(第2回変更、第10回変更)	事業費の精査による変更であるため、数値目標等は変更しない。	●	
	岐阜公園広場整備事業	33	0.32ha	30	0.32ha エントランス広場整備	・事業の精査の結果、事業費を減額(第10回変更)	事業費の精査による変更であるため、数値目標等は変更しない。	●	
	岐阜駅西自転車駐車場整備事業	70	1,551㎡	—	—	・交通システム整備事業に移行したため、事業を削除した。	事業の位置づけを変更して実施したものであるため、数値目標等は変更しない。	—	
	レンタサイクルポート整備事業	—	—	—	—	・中心市街地活性化を都市再生の目標に追記したのに伴い、中心市街地活性化基本計画に掲載された同事業を整備計画に追加した。(第2回変更) ・一体で整備するぎふメディアコスモスの整備が遅れていることから、事業を削除し、次期計画で整備する。	事業の完成後、本計画の指標のフォローアップを行い、効果を測定するので、数値目標等は変更しない。	—	
	公共サイン整備事業	—	—	—	—	中心市街地活性化を都市再生の目標に追記したのに伴い、中心市街地活性化基本計画に掲載された同事業を整備計画に追加した。(第3回変更) ・関連して整備するぎふメディアコスモスの整備が遅れていることから、事業を削除し、次期計画で整備する。	事業の完成後、本計画の指標のフォローアップを行い、効果を測定するので、数値目標等は変更しない。	—	

地域生活基盤施設	(仮称)憩い・にぎわい広場整備事業	—	—	180	1.3ha 用地取得、 並木道、市民広場 整備	・中心市街地の貴重な大規模空間に市民のニーズにあった多目的な広場を整備するため、事業を追加した。(第4回変更) ・プロジェクト全体の実施設計の結果、整備面積を拡大した(0.7ha→1.3ha:第8回変更) ・事業の精査の結果、事業費を増額(第10回変更)	一体で整備する複合施設の利用者数を数値目標に追加した。整備面積の変更に際しては、一体で整備する複合施設の周辺整備との合計整備面積に変更がないので、数値目標を変更しない。 なお、一体で整備する複合施設と合わせ、次期計画で整備を継続する。	●	
	せせらぎ広場整備事業	—	—	10	1.87ha 人工芝工等	・河川敷内にあるせせらぎ公園のバタールゴルフ場の整備を行い、地域住民や小中学生が遊び、交流できるスペースとして整備するため、事業を追加した。(第4回変更)	地域の交流、回遊性の向上に資する事業であるが、地域住民の要望に応じた既設公園の追加整備であるため、数値目標等は変更しない。	●	
	明德運動場広場整備事業	—	—	78	0.7ha 防球ネット、照明設備等	・市中心部のまちなか居住の推進のため、小学校跡地のグラウンドを地域開放する広場として整備するため、事業を追加した。(第8回変更) ・事業の精査の結果、事業費を減額した。(第10回変更)	居住者人口、交通量等指標への影響はあるが、目標の範囲内に収まるため、数値目標等は変更しない。	●	
高質空間形成施設	道路修景整備事業	178	L=710m	67	L=710m 側溝、舗装工、照明設備等	・路線の一部について、整備の詳細についての関係者との調整に時間を要したため、設計のみ実施し、工事未完了のため、事業費を減額した。(第10回変更)	事業を次期計画で引き続き継続するため、数値目標等は変更せず、事業の進捗に合わせてフォローアップを行う。	継続	
	金公園拠点広場整備事業	120	1ha	195	1ha 広場整備、エレベータ設置等	・公園利用者の利便性の向上、バリアフリー化のため、地下駐車場との連結のためのエレベータを設置するため、事業内容を追加した。(第5回変更) ・事業の精査の結果、事業費を減額した。(第10回変更)	居住者人口、交通量等指標への影響はあるが、目標の範囲内に収まるため、数値目標等は変更しない。	●	
	長良川ブルムナード(右岸)整備事業	87	L=860m	99	L=1,310m 側溝、カラー舗装工等	・整備路線・事業費を追加(第5回変更) ・事業の精査の結果、事業費を減額(第10回変更)	居住者人口、交通量等指標への影響はあるが、目標の範囲内に収まるため、数値目標等は変更しない。	●	
	御鯨街道整備事業	—	—	121	L=1,060m 側溝、舗装工、照明設備等	・市の貴重な歴史資産である御鯨街道を整備することで、まちなか歩きを促進し、交流人口の増大を図るため、事業を追加した。(第2回変更) ・道路計画の見直しに伴い、一部路線を除外し、事業量を減量した。(第5回変更) ・地元説明等に時間を要した結果、一部路線が未実施となったため、事業量を減量したほか、精査の結果、事業費を増額した。(第10回変更)	居住者人口、交通量等指標への影響はあるが、目標の範囲内に収まるため、数値目標等は変更しない。一部未実施の路線については、次期計画で継続するため、事業完了後に本計画の指標のフォローアップを行い、効果を測定する。	●	
	岐阜公園スロープ整備事業	7	N=1基	9	N=1基 歩行者用スロープ	事業の精査の結果、事業費を減額(第10回変更)	事業費の精査による変更であるので、数値目標等は変更しない。	●	

高質空間形成施設	岐阜大学医学部等跡地歩道空間等整備事業	—	—	101	N=130m 用地取得	・ぎふメディアコスモス整備に伴う敷地北側の整備のため、事業を追加した。(第4回変更) ・岐阜大学医学部等跡地東側部分も同様に整備するため、施工距離を延伸するため、事業量、事業費を増量した。(第9回変更) ・ぎふメディアコスモスの着工の遅れ、取得予定地の土壌汚染への対応に時間を要したため、事業を次期計画に継続することとし、第9回変更の変更内容を撤回した。(第10回変更)	一体で整備する複合施設の利用者数を数値目標を設定した。整備面積の変更に際しては、一体で整備する複合施設の周辺整備との合計整備面積に変更がないので、数値目標を変更しなかった。 期間内に当初予定した事業が完了しないが、一体で整備する複合施設と合わせ、次期計画で整備を継続し、事業完了後に指標を計測し効果を測定するので、目標指標は変更しない。	継続	
	岐阜駅南口シェルター整備事業	—	—	44	N=1棟 歩行者用シェルター	・岐阜駅南口駅前広場の一般車乗降場付近の安全で快適な歩行空間の確保等を行うため、事業を追加した。(第5回変更)	交通量等指標への影響はあるが、目標の範囲内に収まるため、数値目標等は変更しない。	●	
	SWC推進事業(ウォーキングコース整備)	—	—	12	ユニバーサルトイレ N=1基、歩行者用スロープ／階段M=1基	・SWC総合特区に位置づけられた歩行者の安全、安心に寄与し、都心回遊性の向上につながるため、事業を追加した。(第6回変更) ・事業計画の見直しにより、トイレの設置は道路事業と一体で整備することとし、設置箇所を減じた(3か所→1か所)ので、事業量、事業費を削減した。(第10回変更)	交通量等指標への影響はあるが、目標の範囲内に収まるため、数値目標等は変更しない。	●	
高次都市施設	長良川うかい広場施設整備事業	788	N=1棟	1,034	観光交流センター、 屋外トイレ、駐輪場等 N=4棟 (約2,200㎡)	・景観を最大限に生かし、より魅力を高めるため、別棟の無料休憩スペース等を整備するため、事業量、事業費を増量した。(第2回変更) ・事業を精査し、事業費を減額(第10回変更)	整備施設の実施計画の中で配置を再検討したものであるため、数値目標等は変更しない。	●	
	学校統廃合等施設等整備事業(公民館)	—	—	63	公民館建築工事 N=1棟 (390㎡)	・学校統廃合に伴う、施設の再配置に合わせて、地区住民の相互交流、コミュニティ活動の拠点施設として、地域活性化を図るため、事業を追加した。(第2回変更) ・学校施設との合築に変更したため、事業費を削減した。(第3回変更) - 事業を精査し、事業費を削減(第10回変更)	まちづくりの目標を追加し、「公立小中学校の再編により教育環境を向上させ、併せて関連施設を耐震化し地域防災力強化を図る」とした。	●	
	(仮称)市民活動交流センター[つかさのまち夢プロジェクト]	—	—	1,451	ぎふメディアコスモス 建築工事等 N=1棟 (約3,000㎡)	・中心市街地活性化のため、市民活動を支援する地域交流センターを整備し、地区内の交流人口の増大を図るため、事業を追加した。(第3回変更) ・施設の実施設計、利用想定の見直しの結果、関連事業の暮らしにぎわい再生事業との事業費配分の見直しの結果、事業費を減額した。(第10回変更)	つかさのまち夢プロジェクト事業全体のにぎわい創出効果を測るため、関連事業を含めた複合施設の利用者数を目標指標に追加した。		(H27供用予定)

高次都市施設	(仮称)子育て支援センター	—	—	—	—	・中心市街地活性化のため、乳幼児等を抱えた世代の文化活動等を支援する子育て世代活動支援センター整備し、地区内の交流人口の増大を図るため、事業を追加した。(第3回変更) ・同地区内で整備予定の市街地再開発事業で同種施設の整備を計画したことから、事業の位置づけを変更し、事業を削除した。	つかさのまち夢プロジェクト事業全体のにぎわい創出効果を測るため、関連事業を含めた複合施設の利用者数を目標指標に追加した。子育て支援センターの整備予定面積(約300㎡)は、複合施設全体の面積(約15,000㎡)に比べて小さいことから、目標指標としている複合施設の利用者数については、据え置きとし、変更しない。	—	—
既存建造物活用事業	明德公民館バリアフリー化事業	—	—	47	交流スペース拡大、段差解消等 832㎡	・施設の改修と合わせ、交流スペースの拡大、段差の解消、トイレのバリアフリー化を行うことで、市中心部の市民活動交流機能を拡充するため、事業を追加した。(第8回変更) ・事業の精査の結果、事業費を減額した。(第10回変更)	居住者人口、交通量等指標への影響はあるが、目標の範囲内に収まるため、数値目標等は変更しない。	●	

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造支援事業	岐阜大学医学部等跡地整備計画作成	377	整備計画作成、施設設計	351	整備計画作成、広報、市民フォーラム開催等	施設整備を高次都市施設及び関連事業である暮らし・にぎわい再生事業等に掲載するのに伴い、設計費用を各々の整備計画等に記載し、事業費を削減した。(第3回変更) ぎふメディアコスモスの周辺整備作成に係る事業を追加するため、事業量を増量した。(第5回変更) ぎふメディアコスモスに係るにぎわいの創出のための事業を追加するため、事業量、事業費を増量した。(第6回変更) 事業の精査の結果、事業費を減額した。(第10回変更)	事業手法の変更に伴う変更のため、目標指標等が変更しない。 関連する複合施設の開設は平成27年度の予定であるので、次期計画において事業を継続する。	●	
	(仮称)中央図書館等整備事業	—	—	886	用地取得 (約10,000㎡) 測量、看板設置等	中心市街地活性化のため、図書館を整備し、地区内の交流人口の増大を図るため、事業を追加した。(第3回変更) プロジェクトの進行に伴い、事業名称を(仮称)情報センター整備事業から(仮称)中央図書館等整備事業に変更した。(第7回変更) 事業の精査の結果(用地費面積、取得単価の見直し)事業費を減額した。(第10回変更)	事業費の精査による変更であるので、数値目標等は変更しない。 関連事業での図書館整備は平成26年度までの実施であるため、複合施設の完成後、利用者数を計測し、効果を測定する。		(H27供用予定)
	無電柱化事業	83	L=710m 引込管工事委託	35	L=710m 引込管工事委託	・路線の一部について、整備の詳細についての関係者との調整に時間を要したため、設計のみ実施し、工事未完了のため、事業費を減額した。(第10回変更)	事業を次期計画で引き続き継続するため、数値目標等は変更せず、事業の進捗に合わせてフォローアップを行う。	継続	
	建物移転補償事業	125	建物移転補償 N=1件	608	建物移転補償 N=3件	・建物移転補償事業について、当初道路事業で実施を予定していた箇所を、区画整理事業で実施することとなったため、事業量、事業費を増量した。(第5回変更) ・事業の精査の結果、事業費を減額する。	事業の実施については、当初から関連事業として実施予定であったため、目標指標等は変更しない。	●	
	駅周辺にぎわい拠点施設整備事業	15	建物改修 約150㎡	14	建物改修 約150㎡	・事業の精査の結果、事業費を減額した。(第10回変更)	事業費の精査による変更であるので、数値目標等は変更しない。	●	
	信長公居館跡活用方針策定事業	5	調査策定	24	調査策定。活用方針の検討	・発掘調査結果を踏まえた、今後の活用方策について詳細に検討するため事業量、事業費を増量した。(第3回変更) ・事業の精査の結果、事業費を減額した。(第10回変更)	事業費の精査による変更であるので、数値目標等は変更しない。	●	

地域創造支援事業	岐阜公園歴史文化施設整備事業	—	—	23	遺跡移設工事、事業手法等の検討	・岐阜公園の歴史公園化に向け、園内の信長公居跡を中心として公園整備を実施するため、事業を追加した。(第5回変更) 岐阜城址の史跡区域等の指定に時間を要し、工事着工が遅れたため、事業量、事業費を減量した。(第10回変更)	平成26年度以降、公園事業(概ね10か年)に位置づけ直して事業を継続する。当初整備予定事業費相当の事業が完了した時点で、計画のフォローアップを行い、効果を測定するので、目標指標等は変更しない。	継続	
	都心居住実現方策	—	—	24	地権者説明、事業手法の検討、説明会の開催等	・目標である、まちなか居住を強力に推し進める事業手法の検討を行うため、事業を追加した。(第1回変更) ・事業の実施区域を選定したため、区域における事業の詳細を検討するため、事業量、事業費を増量した。(第3回変更)	事業の実施に当たり、事業地域の詳細を検討するために追加が必要となった経費であるため。数値目標等は変更しない。	●	
	学校統廃合施設整備事業(中学校)	—	—	2,005	中学校(校舎、体育館、プール等)	・学校統廃合により廃止となる小学校跡地に中学校を建設し、地区の課題となっていた中学校の適正規模化と通学区域の見直しを実現し、良好な教育環境を形成するため、事業を追加した。(第2回変更) ・旧小学校用地を中学校に転用するにあたり用地が不足するため、隣接の岐阜盲学校の跡地を取得することとし、事業費を追加した。(第3回変更) ・事業の精査の結果、事業費を減額(第10回変更)	・地区内で課題となっていた教育環境の改善を都市再生のために必要な新たな目標に位置づけた。 ・追加したまちづくりの目標の達成度判定のため、課題となっていた中学校の通学エリアの改善を測る指標として、平均通学距離を指標に追加した。	●	
	歴史的建造物群景観形成助成事業	—	—	33	景観形成に伴う助成	・古い町屋や蔵が残る川原町地区において、町屋等の修景に要する経費を助成し。歴史的町並みの維持、形成を促進することで、交流人口、観光客数の増を図るため、事業を追加した。(第2回変更) ・事業実績を精査し、事業費を減額(第10回変更)	居住者人口、観光入込客数の指標への影響はあるが、目標の範囲内に収まるため、数値目標等は変更しない。	●	
事業活用調査	事業分析調査	—	—	—	—	・事業効果早期発現のための調査を予定していたが、事業そのものに遅れが多いため、実施しなかった。事後評価については、当初予定していた委託を取りやめたため、事業を削除した。(第10回変更)	分析調査事業であるので、目標指標には影響しない。	—	—
まちづくり活動推進事業	まちなか文学散歩プロジェクト推進事業	10	文学散歩 岐阜まち物語の実施	10	文学散歩 岐阜まち物語の実施	—		●	
	まちの魅力づくりプロジェクト推進事業	2	ワークショップ開催、まちなか写真館の開催	2	ワークショップ開催、まちなか写真館の開催	—		●	
	建替相談システム事業	2	建替相談、セミナーの開催	2	建替相談、セミナーの開催	—		●	

まちづくり活動 推進事業	柳ヶ瀬再生支援事業	2	模型、VR作成	—	—	・1期計画で作成したVR等の機能向上を行う予定であったが、当初の仕様のままで商店街の支援業務を行うことができたため、事業を削除した。(第10回変更)	1期計画の成果内容で支障なく事業を実施できたので、目標指標は変更しない。	—	—
	SWC推進事業(健康活動支援、ウォーキング啓発事業等)	—	—	18	健康づくり意識啓発、運動教室の開催、ウォーキングイベント開催等	・SWC総合特区に位置づけられた歩行者の安全、安心に寄与し、都心回遊性の向上につながるため、事業を追加した。(第6回変更) ・事業の一部について、民間と協働による実行委員会で実施するため、実行主体を変更した。(第8回変更) 事業の精査等により、事業費を減額した。(第10回変更)	交通量等指標への影響はあるが、目標の範囲内に収まるため、数値目標等は変更しない。	●	
	岐阜駅周辺地区開発・整備促進事業	15	模型、VR作成等	9	模型、VR作成等	事業の精査の結果、事業費を減額した。(第3回変更)	事業費の精査による変更であるので、数値目標等は変更しない。	●	

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業							平成26年3月末	
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
市街地再開発事業		柳ヶ瀬通北地区	2,000	1,250	平成18年度から平成22年度	平成18年度から平成23年度	完了	
市街地再開発事業		問屋町西部南街区	135,000	16,947	平成18年度から平成23年度	平成18年度から平成24年度	完了	
市街地再開発事業		高島屋南地区	8,000	10,052	未定	平成24年度から平成28年度	準備組合設立	
市街地再開発事業		岐阜駅東地区	未定	6,026	未定	平成25年度から平成28年度	準備組合設立	
都市再生総合整備事業		岐阜駅周辺地区	2,643	2,643	平成15年度から平成24年度	平成22年度から平成25年度	次期計画により整備継続	
土地区画整理事業		岐阜駅北口地区	－	5,146	－	平成14年度から平成26年度	整備中	
道路		長良8号線	未定	未定	未定	未定	未整備	
道路		岐阜駅高富線(梶川工区)	965	965	未定	未定	整備中	
岐阜駅西自転車駐車場整備事業		岐阜駅周辺	－	70	－	平成21年度	完了	
市民活動交流施設整備事業		岐阜大学医学部等跡地	未定	－	未定(平成25年度まで)	－	整備中	当都市再生整備計画に記載
子育て世代活動支援センター事業		岐阜大学医学部等跡地	未定	－	未定(平成25年度まで)	－	事業削除	当都市再生整備計画に記載したが、事業を削除
情報センター整備事業(暮らし・にぎわい再生事業)		岐阜大学医学部等跡地	未定	6,210	未定(平成25年度まで)	平成22年度から平成26年度	整備中	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指 標			データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無	
					基準 年度		基準 年度		目標 年度						あり	なし
指標1	中心市街地区内居住者 人口	人	認定中心市街地活性化区内の 居住者人口を町丁別住民基本 台帳から算出する。			11,574	H20	11,700	H25	モニタリング		—	モニタリング	—		●
										事後評価	確定 見込み	●	11,420	事後評価		
指標2	主要地点歩行者交通量	人／日	中心市街地区内の事業箇所近 傍におけるある一日(休日)の通 行者数(10地点)を計測する。			41,418	H18	41,030	H25	モニタリング		—	モニタリング	—		●
										事後評価	確定 見込み	●	34,230	事後評価		
指標3	観光施設入り込み客数	千人 ／年	観光4施設(岐阜城、長良川温泉 客、鶯飼観覧船、長良川うかい ミュージアムの有料入館者数)の年 間入込客数を計測する。			603	H19	603	H25	モニタリング		—	モニタリング	—		
										事後評価	確定 見込み	●	665	事後評価		
指標4	住民参加・イベント開催件 数	件／年	事業に関連する住民参加活動 およびイベントの開催件数を合 計する。			12	H18	15	H25	モニタリング		—	モニタリング	—		
										事後評価	確定 見込み	●	27	事後評価		
指標5	公立中学校への平均通 学距離	km	中学校への最大通学距離を市中 心部9地区平均から算出する。(9 地区:本郷・明德・京町・金華・華 陽・梅林・白山・徹明・木之本)			2.5	H20	2.0	H25	モニタリング		—	モニタリング	—		
										事後評価	確定 見込み	●	2.0	事後評価		
指標6	岐阜大学医学部等跡地 施設利用者数	人／年	ぎふメディアコスモスの年間利 用者数を計測する。			48,700	H20	570,000	H25	モニタリング		—	モニタリング	—		●
										事後評価	確定 見込み	●	—	事後評価		
指標7	加納公園の利用者数	人／年	加納公園に整備される運動施設 の年間利用者数を計測する。			0	H22	18,000	H25	モニタリング		—	モニタリング	—	●	
										事後評価	確定 見込み	●	15,900	事後評価		

指 標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	地区内の安全かつ魅力的な景観形成に資する道路整備、広場整備などを実施したことにより、評価値の計測時点において目標数値は達成できなかったが、平成23年を底に反転傾向にあり、改善傾向にあるものと考えられるため。	
指標2	にぎわい創出のソフト事業の実施、にぎわい施設周辺の道路整備などを行い、にぎわいの創出を図ったが、地区内の歩行者交通量は減少している。平成24年以降は増加・横ばい傾向に転じており、事業効果は発現していると考える。	JR岐阜駅周辺エリアにおいて、従前の測点は地上にある一方、岐阜駅前広場の歩行者用デッキの供用開始に伴い、多くの歩行者が安全なデッキ部分を通行したため、減少要因となった。
指標3	観光交流拠点施設「長良川うかいミュージアム」を整備し、岐阜公園の広場整備などを実施したことにより、観光入込客数の減少にブレーキをかけ、評価値の計測時点において目標値が達成されているため。	
指標4	住民主体の事業の継続的な支援を行ったほか、各事業の実施にあたり積極的な情報発信を行ったことから、多くの市民の参画を得、自主的な活動を促進した結果、評価値の計測時点において目標値が達成されている	
指標5	新たに中学校を整備したことにより、地区内の児童の通学エリアの適正化を図った結果、整備計画区内の9地区の平均通学距離について、評価値の計測時点において目標値が達成されているため。	
指標6	整備未完了のため計測不可とした。	整備完了(供用開始)が平成27年度のため、平成28年度以降に指標の効果測定を行う必要がある。
指標7	平成26年6月供用後の利用状況による見込み値であるが、一部施設の利用を一時的に制限しており、十分な利用に至っていない中でも一定の利用者数は確保されている。全面供用後の利用促進等により、数年後には目標は達成可能と考える。	整備完了(供用開始)が平成26年度のため、平成27年度以降に指標の効果測定を行う必要がある。

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○:評価値が目標値を上回った場合

△:評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×:評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標		単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
					基準 年度		基準 年度					
その他の 数値指標1	1期岐阜市中心市街地活 性化基本計画に定める歩 行者・自転車通行量	人／日	1期中心市街地活性化基本計画 に定める歩行者・自転車交通量 (中心市街地活性化区域内の30 地点)を計測する。			75,310	H20	モニタリング		—	1期中心市街地活性化基本計 画に定める歩行者・自転車交通 量は、指標2と概ね区域は重複 し、測定地点も30点(指標2は 10地点)と多いため、中心市街 地区内全体の交流人口を表し ている。また、岐阜駅前広場の 歩行者デッキ付近では、地上測 点に対応するデッキ地点の計 測をおこなっているため。	指標2の計測上の問題点を一 部カバーし、計画の目標であ る中心市街地の活性化に一 定の効果があったことを示す 指標である。また、指標1の中 心市街地区内の人口に代わ る指標として、地区内の交流 人口に一定の効果があつたこ とを示すものである。
								事後評価	確定 見込み	● 76,844		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

重要文化的景観の選定(文化審議会による選定の答申) 川原町界隈の歴史的建造物群景観形成助成事業による文化的景観の維持、長良川鶯飼ゾーンから金華山麓の金華地区などの江戸時代から残る町並みにふさわしい道路整備事業などを、実際に利用している住民の意見を取り入れながら実施したことが要因の一つとなり、地域住民との協働による「岐阜らしい景観」の保全につながり、地域住民の生活の基盤となっていることが評価された結果、文化庁の文化審議会による重要文化的景観の選定が実現した。(平成26年3月18日) 文化的景観の選定はこれまで全国43件行われ、東海地方では初となる。また、都市の景観としては、全国で3例目である。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
道路整備等の実施に係る地域との意見交換会等	予定どおり実施した	(金華地区 ゆとり・やすらぎ道空間事業) 【実施状況】 金華自治会連合会(20名程度)との意見交換 【実施時期】 平成22年度から平成23年度 2回 (御鮎街道整備事業) 【実施状況】 金華自治会連合会、京町自治会連合会、明德自治会連合会との意見交換(約20名) 【実施回数】 平成21年度から平成25年度 4回	今後も継続する事業であり、引き続き、必要な意見交換を実施していきたいと考えている。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
施設整備等の実施に係る地域との意見交換会等	予定どおり実施した	(明德運動場広場整備事業) 【実施状況】 明德協議会との意見交換、地元の要望の反映 【実施時期】 平成24年度から平成25年度 5回 (学校統廃合施設等整備事業(中学校・公民館)) 【実施状況】 住民説明会、内覧会の開催(最大100名) 【実施回数】 平成22年度から平成23年度 6回 (長良川うかい広場施設整備事業) 【実施状況】 長良東鵜飼屋地区自治会や鵜飼屋景観まちづくり協議会との意見交換(地元説明会) 【実施回数】 平成22年度から平成23年度 3回	引き続き、地域の要望を施設管理等に生かしていきたいと考えている。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

地域の住民や代表者あるいは市民の参画を得て事業の実施や方策を検討した協議会等	予定どおり実施した	●	(長良川うかい広場施設整備事業) 【実施状況】(仮称)うかいミュージアム運営実施計画策定協議会(11名)の開催 【実施回数】平成22年度 5回	・引き続き、地域の要望を施設管理等に生かしていきたいと考えている。 ・スマートウエルネスぎふ健康ウォーク実行委員会については、今後も市民の参加を得ながら進めていきたいと考えている。
	予定はなかったが実施した		(学校統廃合施設整備事業(中学校)) 【実施状況】岐阜中央中学校設置準備委員会(20名)の開催 【実施回数】平成21年度から平成23年度 8回	
	予定したが実施できなかった(理由)		(SWC推進事業(健康活動支援、ウォーキング啓発事業等)) 【実施状況】スマートウエルネスぎふ健康ウォーク実行委員会(13人)の開催 【実施回数】平成24年度から平成25年度 6回	
中心市街地活性化やまちなか居住の推進のためのプロジェクト事業の推進に係る住民の参加	予定どおり実施した	●	(まちなか文学散歩プロジェクト推進事業) 【実施状況】岐阜まち物語実行委員会(約40名)の開催 【実施回数】平成21年度から平成25年度 24回 (まちの魅力づくりプロジェクト推進事業) 【実施状況】地元有志からなる柳ヶ瀬プロデュースチーム 【実施回数】平成21年度から平成23年度 8回 平成24年度からは、商店街振興組合連合会、まちづくり団体等がプロデュースチームの目的に基づき活動を展開	・各事業に係る住民主体の活動への支援を継続していきたいと考えている。 ・建替相談システム事業については、平成24年度から中心市街地建替え促進事業と改め、平成25年度には建物所有者に対しアンケートを実施した。その結果を踏まえて、今後の事業を展開していきたいと考えている。 ・つかさのまち夢プロジェクトについては、今後より多い市民の参画を得ながら、にぎわいの創出に向けた市民活動の広がりを促していきたいと考えている。 ・都心居住実現方策については、今後も持続的な活動となるよう、継続的な支援と協力をしていきたいと考えている。
	予定はなかったが実施した		(建替相談システム事業) 【実施状況】セミナーの開催、相談の受付、柳ヶ瀬における建物利活用及びまちづくりに関するアンケートの実施 【実施回数】セミナー 平成21年度 1回 相談件数 平成22年度から平成23年度 5件 アンケート 平成25年10月に実施	
	予定したが実施できなかった(理由)		(つかさのまち夢プロジェクト) 【実施状況】ぎふメディアコスモスワークショップ(約10名。市職員除く) 【実施回数】平成25年度 7回(12月末まで) (都心居住実現方策) 【実施状況】地権者等のアンケートの実施(最大約400人) 説明会、玉宮地区まちなか再生協議会、同勉強会の開催 【実施回数】アンケート 平成21年度、平成24年度 説明会 平成24年度 2回 協議会、勉強会の開催 平成25年度 7回	
住民主体の活動に、整備計画の事業が効果を果たした活動	予定どおり実施した		(岐阜駅周辺地区開発・整備促進事業) 【実施状況】まちづくり推進委員会(約10名)	・市街地再開発を含めた地域の意向を尊重しながら、提案や支援を継続していきたいと考えている。
	予定はなかったが実施した	●	事業で作成したVRや模型がきっかけとなって、地元の企業人や経営者との懇談を行い、今後のまちづくりの意見を交換	
	予定したが実施できなかった(理由)		【実施回数】平成23年度 4回	

多くの市民の参加を得たイベントの開催等	予定どおり実施した	●	(SWC推進事業(健康活動支援、ウォーキング啓発事業等)) 【実施状況】 スマートウエルネスぎふ健幸ウォークの実施 【実施回数】 平成24年度、平成25年度 各1回 【市民の参加】 平成24年度 約11,000人 平成25年度 約12,000人	・今後も積極的に情報を発信しながら、より多くの市民の参加を得ながら事業の実施を進めていきたいと考えている。
	予定はなかったが実施した		(御船街道整備事業) 【実施状況】 御船街道ウォークの実施(地域が実施主体) 【実施回数】 年1回	
	予定したが実施できなかった(理由)		(つかさのまち夢プロジェクト) 【実施状況】 複合施設“ぎふメディアコスモス”に関する設計者選定のための公開プロポーザル、設計シンポジウムやフォーラム、並木道テニテオの開通式を開催 【実施回数】 平成22年度から平成24年度 各1回 平成25年度 2回 【市民の参加】 約400人から1,000人	

添付様式3ー③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況		実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
			i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
玉宮地区まちなか再生協議会及び玉宮地区まちなか再生権利者勉強会の発足	予定どおり実施した		玉宮地区のにぎわいの再生と市街地環境の維持向上を図るため、まちなか居住を推進し、その実現手法として、権利者による土地の共同利用、共同化建物の活動を支援する。	「玉宮地区 まちなか再生協議会」 平成25年10月発足 自治会長14名で構成 「玉宮地区 まちなか再生権利者勉強会」 平成25年度10月28日 第1回開催 権利者によって構成	・事業の実現に向けて、協議会、勉強会の活動を支援していく。
	予定はなかったが実施した	●			
	予定したが実施できなかった(理由)				
ぎふメディアコスモスワークショップの開催	予定どおり実施した		ぎふメディアコスモスに関心を持つ市民の有志が集い、今後の施設管理のあり方やにぎわいの創出、発信を検討している。	「ぎふメディアコスモスワークショップ」 平成25年度発足 現在は市民約10名に加え、市職員、施設の設計者等が参加している。	・にぎわいの創出に向けた市民活動の広がりを促していく。
	予定はなかったが実施した	●			
	予定したが実施できなかった(理由)				

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4－① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
岐阜市都市再生整備計画事業庁内検討委員会(岐阜都心地区部会)	企画部、都市建設部、基盤整備部、まちづくり推進部、商工観光部、教育委員会の各課	平成26年2月 平成26年12月	都市建設部都市建設政策課

添付様式4－② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標3		指標4		指標5		その他指標1	
指 標 名		観光施設入り込み客数		住民参加・イベント開催件数		公立中学校への平均通学距離		1期岐阜市中心市街地活性化基本計画に定める歩行者・自転車通行量	
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	(道路)金華地区(ゆとり・やすらぎ道空間事業)	◎	観光交流拠点施設「長良川うかいミュージアム」を整備し、岐阜城の玄関口である岐阜公園の広場整備などを1期計画から引き続き実施したことにより、1300年の歴史を誇る長良川鵜飼や織田信長の足跡が残る長良川・金華山ゾーンの歴史文化の魅力の増大につながった結果、観光入込客数の減少に歯止めをかけることができた。	○	まちなか文学散歩プロジェクト推進事業では、“柳ヶ瀬レトロ”に出会うまちなか歩きをテーマにした岐阜まち物語が好評を博し、毎年さまざまな催しを展開したことにより、その過程において多くの住民参加を得た。また、新たに整備するぎふメディアコスモスにおいては、積極的な情報発信を行うことにより、多くの市民の参加を得て住民参加型フォーラムを開催したほか、にぎわい発信のための住民有志と市役所担当課が参画するワークショップが発足した。都心居住実現方策では、玉宮地区まちなか再生協議会などが、既存市街地の再編整備に向けた協議会が発足し、勉強会を開催した。一部活動を完了するなどの活動があったものの、積極的な情報発信をするなどにより、多くの市民の関心を集めた結果、多くの住民参加プロセスを得ることができた。	—	小学校跡地に新たに中学校を整備したことにより、通学のために川幅のある長良川を相互に行き来する状況が改善され、地区内の児童の通学エリアの適正化を図ることができた。	○	1期中心市街地活性化基本計画に定める歩行者・自転車交通量は、指標2と概ね区域は重複するが、中心市街地全体を網羅し、測定地点も30点(指標2は10地点)と多いため、中心市街地区内全体の交流人口を表しているほか、岐阜駅前広場の歩行者デッキ付近では、地上測点に対応するデッキ地点の計測をおこなっている。大型商業施設の撤退に伴う急激な減少がみられる平成22年を除いて、概ね平成19年、平成20年の歩行者・自転車交通量の平均水準を維持しており、中心市街地活性化プロジェクト事業、地区内の道路整備、公園・広場整備などの効果により、中心市街地内のにぎわいの維持につながった。
	(道路)京町・明德地区(あんしん歩行エリア整備事業)	—		—		—		○	
	(道路)無城町玉宮町線	—		—		—		◎	
	(公園)加納公園整備事業	—		—		—		—	
	(地域生活基盤施設)長良川うかい広場施設整備事業	◎		—		—		—	
	(地域生活基盤施設)岐阜公園広場整備事業	◎		—		—		—	
	(地域生活基盤施設)(仮称)憩い・にぎわい広場整備事業	—		◎		—		△	
	(地域生活基盤施設)せせらぎ広場整備事業	—		—		—		○	
	(地域生活基盤施設)明德運動場広場整備事業	—		—		—		△	
	(高質空間形成施設)道路修景整備事業	—		—		—		◎	
	(高質空間形成施設)金公園拠点広場整備事業	—		—		—		◎	
	(高質空間形成施設)長良川プロムナード(右岸)整備事業	◎		—		—		—	
	(高質空間形成施設)御膳街道整備事業	◎		◎		—		◎	
	(高質空間形成施設)岐阜公園スロープ整備事業	◎		—		—		—	
	(高質空間形成施設)岐阜大学医学部等跡地歩道空間等整備事業	—		—		—		△	
	(高質空間形成施設)岐阜駅南口シェルター整備事業	—		—		—		◎	
	(高質空間形成施設)SWC推進事業(ウォーキングコース整備)	—		—		—		○	
	(高次都市施設)長良川うかい広場施設整備事業	◎		—		—		—	
	(高次都市施設)学校統廃合等施設等整備事業(公民館)	—		—		—		△	
	(高次都市施設)(仮称)市民活動交流センター	—		△		—		△	
提案事業	(既存建造物活用事業)明德公民館バリアフリー化事業	—		—		—		△	
	(まちづくり活動推進事業)まちなか文学散歩プロジェクト推進事業	—		◎		—		◎	
	(まちづくり活動推進事業)まちの魅力づくりプロジェクト推進事業	—		○		—		◎	
	(まちづくり活動推進事業)建替相談システム事業	—		◎		—		—	
	(まちづくり活動推進事業)SWC推進事業(健康活動支援、ウォーキング啓発事業)	—		○		—		◎	
	(まちづくり活動推進事業)岐阜駅周辺地区開発・整備促進事業	—		—		—		△	
	(地域創造支援事業)岐阜大学医学部等跡地整備計画作成	—		◎		—		○	
	(地域創造支援事業)(仮称)中央図書館等整備事業	—		△		—		△	
	(地域創造支援事業)無電柱化事業	—		—		—		◎	
	(地域創造支援事業)建物移転補償事業	—		—		—		—	
	(地域創造支援事業)駅周辺にぎわい拠点施設整備事業	—		—		—		◎	
	(地域創造支援事業)信長公居館跡活用方針策定事業	○		—		—		—	
	(地域創造支援事業)岐阜公園歴史文化施設整備事業	○		—		—		—	
	(地域創造支援事業)都心居住実現方策調査	—		◎		—		—	
	(地域創造支援事業)学校統廃合等施設整備事業(中学校)	—		○		◎		—	
	(地域創造支援事業)歴史的建造物群景観形成助成事業	◎		—		—		—	

関連事業	(市街地再開発事業)柳ヶ瀬通北地区	—		—		—		◎	
	(市街地再開発事業)問屋町西部南街区	—		—		—		◎	
	(市街地再開発事業)高島屋南地区	—		—		—		△	
	(市街地再開発事業)岐阜駅東地区	—		—		—		△	
	岐阜駅周辺地区都市再生総合整備事業	○		—		—		◎	
	岐阜駅北口地区土地区画整理事業	—		—		—		—	
	(道路)長良8号線	△		—		—		—	
	(道路)岐阜駅高富線(梶川工区)	△		—		—		—	
	岐阜駅西自転車駐車場整備事業	—		—		—		◎	
	情報センター整備事業(暮らし・にぎわい再生事業)	—		—		—		△	

※指標改善への貢献度

- ◎ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
○ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
△ : 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
— : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	一部未完了事業を推進するとともに、整備施設の管理運営の改善による観光客数の増加を図る。	住民主体の活動については、引き続き、多様な活性化策を講じるよう、支援を継続する。ぎふメディアコスモスや玉宮町地区の整備事業については、住民参加型で事業を推進する。	各学校や地域の交通安全活動と協働して、通学路の安全確保に努める。	整備未了の施設があり、完了していれば、より多くの交流人口が図れたものであるため、未完了事業の整備を進め、様々な賑わい策を同時に実施していく。
-------	---	---	----------------------------------	--

添付様式4－③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1			指標2			指標6			指標7		
指 標 名		中心市街地区内居住者人口			主要地点歩行者交通量			岐阜大学医学部等跡地施設利用者数			加納公園の利用者数		
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	(道路)金華地区(ゆとり・やすらぎ道空間事業)	△	関連事業を含め、中心市街地内及び周辺の道路整備、公園・広場整備、住環境整備、教育環境の改善、にぎわいを創出するソフト事業の実施などにより、地区内の活性化の推進、魅力の向上を測り、まちなか居住の推進を図ったが、長期的な減少傾向のなか、目標値の達成はできなかったものの、平成23年を底に反転傾向にあり、改善傾向につながった。	I	—	中心市街地活性化のプロジェクト事業の実施、御鯰街道の整備、玉宮町界隈のまちなみ整備などを行い、にぎわいの創出を図ったが、地区内の大型商業施設の閉館(H21.9)などにより、地区内の歩行者交通量は平成22年にかけて急激に減少した。その後、別の商業施設が開店し、市街地再開発ビル完成などによる回復の兆しがみられる中で、平成24年以降は増加・横ばい傾向に転じており、一定の事業効果が発現されたと考えられる。	III	—	主たる整備施設である、ぎふメディアコスモスが未完了のため、利用者数が計測できず、目標指標は達成されていない。平成27年度の完成オープン後、利用者数を計測し、計画のフォローアップに反映させる。	I	—	平成26年6月に供用開始したが、場外への飛球が頻繁に発生し、一部施設の利用を一時的に制限しており、十分な利用には至っていない状況にある。平成26年度中に必要な対策を完了し、全面的な供用後に利用者数を計測し、計画のフォローアップに反映させる。	I
	(道路)京町・明徳地区(あんしん歩行エリア整備事業)	△			—			—			—		
	(道路)蕪城町玉宮町線	△			△			—			△		
	(公園)加納公園整備事業	—			—			—			—		
	(地域生活基盤施設)長良川うかい広場施設整備事業	—			—			—			—		
	(地域生活基盤施設)岐阜公園広場整備事業	—			—			—			—		
	(地域生活基盤施設)(仮称)憩い・にぎわい広場整備事業	—			××			××			—		
	(地域生活基盤施設)せせらぎ広場整備事業	—			△			—			—		
	(地域生活基盤施設)明徳運動場広場整備事業	×			×			—			—		
	(高質空間形成施設)道路修景整備事業	△			△			—			—		
	(高質空間形成施設)金公園拠点広場整備事業	△			△			—			—		
	(高質空間形成施設)長良川プロムナード(右岸)整備事業	—			—			—			—		
	(高質空間形成施設)御鯰街道整備事業	△			△			—			—		
	(高質空間形成施設)岐阜公園スロー整備事業	—			—			×			—		
	(高質空間形成施設)岐阜大学医学部等跡地歩道空間等整備事業	—			△			—			—		
	(高質空間形成施設)岐阜駅南口シェルター整備事業	—			△			—			—		
	(高質空間形成施設)SWC推進事業(ウォーキングコース整備)	—			△			—			—		
	(高次都市施設)長良川うかい広場施設整備事業	—			—			—			—		
	(高次都市施設)学校統廃合等施設等整備事業(公民館)	△			△			—			—		
	(高次都市施設)(仮称)市民活動交流センター	×			×			×			—		
	(既存建造物活用事業)明徳公民館バリアフリー化事業	×			×			—			—		
提案事業	(まちづくり活動推進事業)まちなか文学散歩プロジェクト推進事業	—			△			—			—		
	(まちづくり活動推進事業)まちの魅力づくりプロジェクト推進事業	—			△			—			—		
	(まちづくり活動推進事業)建替相談システム事業	×			—			—			—		
	(まちづくり活動推進事業)SWC推進事業(健康活動支援、ウォーキング啓発事業)	—			△			—			—		
	(まちづくり活動推進事業)岐阜駅周辺地区開発・整備促進事業	×			×			—			—		
	(地域創造支援事業)岐阜大学医学部等跡地整備計画作成	—			—			×			—		
	(地域創造支援事業)(仮称)中央図書館等整備事業	—			×			×			—		
	(地域創造支援事業)無電柱化事業	△			△			—			—		
	(地域創造支援事業)建物移転補償事業	—			—			—			—		
	(地域創造支援事業)駅周辺にぎわい拠点施設整備事業	—			△			—			—		
	(地域創造支援事業)信長公居館跡活用方針策定事業	—			—			—			—		
	(地域創造支援事業)岐阜公園歴史文化施設整備事業	—			—			—			—		
	(地域創造支援事業)都心居住実現方策調査	△			—			—			—		
	(地域創造支援事業)学校統廃合等施設整備事業(中学校)	△			—			—			—		
	(地域創造支援事業)歴史的建造物群景観形成助成事業	—			—			—			—		

関連事業	(市街地再開発事業)柳ヶ瀬通北地区	△			△	提案事業の実施や地元商店街の取り組みなどにより、減少の中にも回復の兆しがみられる。		—			—		
	(市街地再開発事業)問屋町西部南街区	△			△			—			—		
	(市街地再開発事業)高島屋南地区	××			×			—			—		
	(市街地再開発事業)岐阜駅東地区	××			×			—			—		
	岐阜駅周辺地区都市再生総合整備事業	—			△			—			—		
	岐阜駅北口地区土地区画整理事業	—			—			—			—		
	(道路)長良8号線	—			—			—			—		
	(道路)岐阜駅高富線(梶川工区)	—			—			—			—		
	岐阜駅西自転車駐車場整備事業	—			△			—			—		
	情報センター整備事業(暮らし・にぎわい再生事業)	×			×			××			—		

※目標未達成への影響度

××:事業が効果を発揮せず、
指標の目標未達成の直接的な原因となった。
×:事業が効果を発揮せず、
指標の目標未達成の間接的な原因となった。
△:数値目標が達成できなかった中でも、
ある程度の効果をあげたと思われる。
—:事業と指標の間には、もともと関係がないことが
明確なので、評価できない。

※要因の分類
分類Ⅰ:内的な要因で、予見が可能な要因。
分類Ⅱ:外的な要因で、予見が可能な要因。
分類Ⅲ:外的な要因で、予見が不可能な要因。
分類Ⅳ:内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針
(記入は必須)

改善傾向を維持し、要因となつた未完了施設の整備を進めること、集約型都市構造を構築することで、まちなか居住を推進し、中心市街地の人口の増加を図る。

整備未了施設の整備を進めるとともに、引き続き、域内のにぎわい創出事業を推進することで、交流人口の拡大を図っていく。

ぎふメディアコスモスの整備を進め、にぎわいの創出、発信に努めることで、目標とする利用者数を達成する。

飛球対策などの周辺整備を進め、一層利用の促進を図ることで、目標とする利用者数を達成する。

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
岐阜市都市再生整備計画事業庁内検討委員会(岐阜都心地区部会)	企画部、都市建設部、基盤整備部、まちづくり推進部、商工観光部、教育委員会の各課	平成26年2月 平成26年12月	都市建設部都市建設政策課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
■商業業務ゾーンの再生と観光拠点の整備による交流人口の増加と市街地の活性化	・観光交流センターを中心として新たな観光入込客を誘致できた。 ・市街地再開発事業や駅前広場整備事業などの関連事業と合わせ、岐阜駅周辺から柳ヶ瀬周辺の再整備を進め、ホテルや商業施設などの誘致による都市の魅力向上が図られた。	・にぎわいの拠点となるぎふメディアコスモスの周辺整備が未完了となっており、早急に完成させ、地域のにぎわいの創出を図り、交流人口の増大を図る必要がある。	なし
■魅力的な都心生活圏の創出による居住人口の増加とコミュニティの再生	・玉宮地区まちなか再生協議会など、住民主体の活動を発掘できた。	・まちなか居住の推進、集約型都市構造の進展を図ることで、中心市街地の人口の増加を図り、賑わいの創出を目指す必要がある。	
■歩行者優先の回遊ネットワーク整備への転換によるヒューマンスケール型まちづくりの推進	・地域と連携した道路整備事業を実施することで、都心回遊性の向上と安全・安心な歩行空間の形成を図ることができた。	・御鯨街道整備事業、市道蕪城町玉宮町線の電線共同溝事業は計画より遅延したため、早急に事業の完了を図ることで事業効果を上げていく必要がある。	
■地域固有の自然・歴史・文化を活かした個性的な景観の創出	・川原町の景観助成や岐阜公園玄関口の整備完了、長良川うかい広場施設整備などにより、岐阜市を代表する景観と観光交流拠点の形成を図ることができた。	・本格着手が遅れた岐阜公園再整備に係る事業を進めていく必要がある。	
■公立小中学校の規模適正化と関連施設の耐震強度不足の解消	・岐阜中央中学校の開校により、規模適正化と通学距離の改善による教育環境の向上を図り、避難場所としての耐震性の改善を図ることができた。	特になし	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5ー③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	・観光交流センターを中心として新たな観光入込客を誘致できた。 ・市街地再開発事業や駅前広場整備事業などの関連事業と合わせ、岐阜駅周辺から柳ヶ瀬周辺の再整備を進め、ホテルや商業施設などの誘致による都市の魅力向上が図られた。	・鵜飼屋地域の文化と生活を紹介する事業を行うなど、長良川うかいミュージアムならではの事業を実施するなど、より魅力的で交流を深める事業の実施を継続して行っていく。 ・岐阜駅周辺や柳ヶ瀬エリアの再整備を継続し、にぎわいの拠点づくりを一層進める。	長良川うかいミュージアムの管理運営の改善を継続 岐阜駅東地区、高島屋南地区市街地再開発事業の推進（関連事業により継続中） 岐阜駅前歩行者用デッキの整備の推進（次期計画で実施中）
	・玉宮地区まちなか再生協議会など、住民主体の活動を発掘できた。	住民主体の活動に対して、継続的な支援を行うことで、住民、市民のまちづくりへの機運を高めていく。	みんなの森にぎわい創出事業（次期計画で実施中） （仮称）既成市街地再編整備事業（次期計画で実施中） 中心市街地活性化推進事業（継続事業）
	・地域と連携した道路整備事業を実施することで、都心回遊性の向上と安全・安心な歩行空間の形成を図ることができた。	事業を継続するとともに、適切な維持管理を行っていく。	御鯨街道整備事業（継続事業。次期計画で実施中） ゆとり・やすらぎ道空間事業（継続事業。次期計画で実施中） 市道蕨城町玉宮町線電線共同溝事業（継続事業。次期計画で実施中）
	・川原町の景観助成や岐阜公園玄関口の整備完了、長良川うかい広場施設整備などにより、岐阜市を代表する景観と観光交流拠点の形成を図ることができた。	個性的な景観の維持に努めるとともに、岐阜公園内苑等の再整備を進めていく。	岐阜公園再整備事業（都市公園事業で継続中）
	・岐阜中央中学校の開校により、規模適正化と通学距離の改善による教育環境の向上を図り、避難場所としての耐震性の改善を測ることができた。	通学路の安全確保を進めていく。また、地域防災力の向上に努める。公共施設の耐震化を早期に完了する。	地域の交通安全活動や自主防災活動の支援。 公共施設の耐震化（平成27年度中に建替え予定施設を除く市内全498棟の公共施設の耐震化を完了予定。）

B欄 改 善 策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	・にぎわいの拠点をめざしていた、ぎふメディアコスモスが未完となり、早急に完成させ、地域のにぎわいの創出を図り、交流人口の増大を図る必要がある。	ぎふメディアコスモスの整備を進め、にぎわいの創出、発信に努めることで交流人口の増大を図っていく。	みんなの森 ぎふメディアコスモスの整備（次期計画等で継続中）
	・まちなか居住の推進、集約型都市構造の進展を図り、中心市街地の人口の増加を図ることで賑わいの創出を目指す必要がある。	中心市街地の活性化を進めつつ、集約型都市構造をめざし、各生活圏域と有機的に結びついたまちづくりを進めていく。	公共施設の再配置の検討と推進 （仮称）既成市街地再編整備事業（次期計画で実施中） 市街地再開発事業（高島屋南地区、岐阜駅東地区）
	・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	未整備の路線を早急に整備し、事業効果を高めていく。	御鯨街道整備事業（継続事業。次期計画で実施中） 市道蕨城町玉宮町線電線共同溝事業（継続事業。次期計画で実施中）
	・本格着手が遅れた岐阜公園再整備に係る事業を進めていく必要がある。	岐阜公園の再整備を計画的に実施していく。	岐阜公園再整備事業（都市公園事業で継続中）

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5－③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4－②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4－③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5－②)を再確認した。

添付様式5－参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

特になし

・フォロアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指 標			従前値		目標値		評価値			目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画			
			単位	年度	年度	年度							予定時期	計測方法	その他特記事項	
指標1	中心市街地区内 居住者人口	人	11,574	H20	11,700	H25	確定 見込み	● ●	11,420	△	あり なし	● ●	→			次期計画等にあわせて 計測を検討する。
指標2	主要地点歩行者 交通量	人／日	41,418	H18	41,030	H25	確定 見込み	● ●	34,230	△	あり なし	● ●	→			次期計画等にあわせて 計測を検討する。
指標3	観光施設入り込 み客数	千人 ／年	603	H19	603	H25	確定 見込み	● ●	665	○	あり なし	● ●	→			
指標4	住民参加・イベ ント開催件数	件／年	12	H18	15	H25	確定 見込み	● ●	27	○	あり なし	● ●	→			
指標5	公立中学校への 平均通学距離	km	2.5	H	2.0	H25	確定 見込み	● ●	2.0	○	あり なし	● ●	→			
指標6	岐阜大学医学部 等跡地施設利用 者数	人／年	48,700	H	570,000	H25	確定 見込み	● ●	—	—	あり なし	● ●	→	H28.10	ぎふメディアコスモスの年間利用者数	
指標7	加納公園の利用 者数	人／年	0	H	18,000	H25	確定 見込み	● ●	15,900	△	あり なし	● ●	→	H27.10	加納公園に整備される運動施設の年 間利用者数	

その他の 数値指標1	1期岐阜市中心 市街地活性化基 本計画に定める 歩行者・自転車 通行量	人／日	75310	H20			確定 見込み	● ●	76,844				→			
その他の 数値指標2				H			確定 見込み	● ●					→			
その他の 数値指標3				H			確定 見込み	● ●					→			

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	・観光交流センターを中心として新たな観光入込客を誘致できた。 ・玉宮地区まちなか再生協議会など、住民主体の活動を発掘できた。	・住民主体で住民参加型の事業推進により、まちづくりの機運を高め、コミュニティの再生を図っていく。 ・未完成となっているにぎわい拠点施設を整備し、交流人口の増加を目標に据える。
	うまくいかなかった点	・特に、交流人口を示す指標としての歩行者交通量の達成ができなかった。大型商業施設の閉館に伴う大幅な減少を回復できなかった。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	中心市街地区内居住者人口、主要地点歩行者交通量。観光施設入り込み客数、公立中学校への平均通学距離、岐阜大学医学部等跡地施設利用者数、加納公園の利用者数は目標と整合できた。	まちの課題とまちづくりの課題を結び付け、必要に応じて、随時計画をモニタリングし、目標を見直しを検討していく。
	うまくいかなかった点	住民参加・イベント開催件数は、従前値で計測した活動が合併するなど、5か年の計画期間の中で、計測対象に予期せぬ異動があった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	玉宮地区、みんなの森ぎふメディアコスモスなどの事業で新たな住民活動の発足があった。	住民参加型、住民主体の事業の推進を今後も継続していく。
	うまくいかなかった点	特になし	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	1期計画から3期計画となるまでのPDCAサイクルが機能している。	モニタリングの実施を行うなど、事業の軌道修正を図りながら進めていく。必要に応じて庁内の検討組織や評価委員会を活用する。
	うまくいかなかった点	特になし	
その他	うまくいった点	特になし	—
	うまくいかなかった点	特になし	

添付様式6ー参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

「岐阜市中心部地区都市再生整備計画」

当該地区の後継計画として、整備区域を231haに縮小した、岐阜市中心部地区都市再生整備計画を平成26年度から平成29年度に実施。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	平成26年2月18日から同3月3日	平成26年2月18日から同3月3日	担当課窓口、担当課への電話、FAX,電子メール等	都市建設政策課
広報掲載・回覧・個別配布	市のホームページ及び窓口で原案を公表を告知	平成26年2月18日から同3月3日	平成26年2月18日から同3月3日		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	担当課の窓口で自由に閲覧	平成26年2月18日から同3月3日	平成26年2月18日から同3月3日		

住民の意見	—
-------	---

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	倉内 文孝(岐阜大学工学部)	平成27年2月18日	都市建設政策課	岐阜市都市再生整備計画事業評価委員会要綱	独自に設置
その他の委員	堀 暁美(岐阜県建築士会) 坪内 恭史(岐阜県建築士会) 赤塚 昌紀(明德自治会連合会) 古川 洋治(岐阜市商店街振興組合連合会)				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	—
	成果の評価	・適切かつ客観的に実施されたことが確認された。 ・今後の指標設定では、目標と指標の関連性や効果(防災性の向上、イベント開催効果)などについて市民にとってわかりやすい表現方法にすべきであるという意見が出された。
	実施過程の評価	・住民参加プロセスの実施状況、継続的なまちづくり体制の構築状況は適切であると確認された。
	効果発現要因の整理	・適切かつ客観的に実施されたことが確認された。
	事後評価原案の公表の妥当性	・適切かつ客観的に実施されたことが確認された。
	その他	・特になし
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当であることが確認された。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・今後のまちづくり方策の作成方法は適切であると確認された。
	フォローアップ	・記載された内容が適切であることが確認された。
	その他	・ハード整備にあわせたソフトの対応を十分に実施すべきであるという意見が出された。 ・「みんなの森 ぎふメディアコスモス」は、効果的に利用されるよう運営方法を検討すべきであるという意見が出された。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。
その他		・公表にあたっては、市民にわかりやすい方法を検討すべきであるという意見が出された。 ・今後は事業内容に対する目標・効果が具体的でわかりやすい内容として整理すべきであるという意見が出された。

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、まちづくり交付金評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
なし		

有識者の意見	なし
--------	----

都市再生整備計画(第10回変更)

ぎふとしんちく
岐阜都心地区

ぎふ ぎふ
岐阜県 岐阜市

平成26年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岐阜県	市町村名	岐阜市(ぎふし)	地区名	岐阜都心地区(ぎふとしんちく)	面積	725 ha
計画期間	平成21年度～平成25年度	交付期間	平成21年度～平成25年度				

目標
■市民の交流拠点整備や市街地再開発事業等により、まちなか居住の推進と中心市街地の活性化を図る。 ■歩行者優先の都心回遊路の整備等により、市民生活の快適性と利便性の向上を図る。 ■歴史・文化を次世代へ継承する施設整備等により、市民や観光客のにぎわいの創出を図る。 ■市民協働型のまちづくり活動により、地域の魅力を再発見し、地域力の向上を図る。 ■公立小中学校の再編により教育環境を向上させ、併せて関連施設を耐震化し地域防災力強化を図る。

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況
■歴史的経緯と問題点 本地区は岐阜市の中心市街地において、戦災復興区画整理に始まる様々な基盤整備事業により、県都の政治的・経済的な中枢地域として発展してきた。 しかし、都市の郊外化等により、定住人口並びに交流人口の減少による都心部の空洞化が進行してきた。 その後、岐阜駅周辺部における鉄道高架事業や住民主体の再開発事業等の活性化事業が実施されてきたが、経済環境の悪化等により、抜本的に問題を解決していない。 現在、市町村合併により、本地区にはより広域的な都市圏の中枢地域としての都市機能の再整備やコミュニティの再生、歩行中心のコンパクトなまちづくりを推進する必要がある。
■第1期計画について 第1期計画では鵜飼ゾーンを観光資源の核に据え、広場・プロムナード・案内板等の整備を行い、鵜飼ゾーンから柳ヶ瀬等をネットワークで結び、地区全体としての回遊性を高めようとした。 計画に掲げた指標の達成見込みは厳しいものの、商品販売額や歩行者交通量は下げ止まり傾向がみられ、一定の効果があつた。 また、住民によるまちづくり活動は盛んであり、今後の都心部の再生に向けての取り組みが一層期待されるところである。
課題
■商業業務ゾーンの再生と観光拠点の整備による交流人口の増加と市街地の活性化 ■魅力的な都心生活圏の創出による居住人口の増加とコミュニティの再生 ■歩行者優先の回遊ネットワーク整備への転換によるヒューマンスケール型まちづくりの推進 ■地域固有の自然・歴史・文化を活かした個性的な景観の創出 ■公立小中学校の規模適正化と関連施設の耐震強度不足の解消
将来ビジョン(中長期)
(岐阜市総合計画2008)
・岐阜駅周辺から柳ヶ瀬区域については、都心部として現在の都市基盤を活用しつつ高度利用を図り、中枢業務機能や商業機能集積に加え、良好な居住機能、にぎわい機能など、多様な都市機能の集積を図ります。 ・金華山、長良川周辺においては、歴史的な雰囲気を活かした魅力の向上を図ります。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	
							目標年度
中心市街地区内居住者人口	人	認定中心市街地活性化区内の居住者人口	まちなか居住の達成度を示す指標	11,574	平成20	11,700	平成25
主要地点歩行者交通量	人／日	事業箇所近傍におけるある一日の通行者数	もっとも端的に街の賑わい度を示す指標	41,418	平成18	41,030	平成25
観光施設入り込み客数	千人／年	観光4施設の年間入込客数	観光地としての魅力度を示す指標	603	平成19	603	平成25
住民参加・イベント開催件数	件/年	事業に関連する住民参加活動およびイベントの開催件数	市民協働型のまちづくりの度合を示す指標	12	平成18	15	平成25
公立中学校への平均通学距離	km	中学校への最大通学距離の市中心部9地区平均	教育環境と通学利便性を示す指標	2.5	平成20	2.0	平成25
岐阜大学医学部等跡地施設利用者数	人／年	岐阜大学医学部等跡地に整備される施設の年間利用者数	交流拠点施設の整備による賑わいの創出を示す指標	48700	平成20	570,000	平成25
加納公園の利用者数	人／年	加納公園に整備される施設の年間利用者数	市民の交流及び健康づくりに資する施設整備による賑わいの創出を示す指標	0	平成22	18,000	平成25

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
■市民の交流拠点整備や市街地再開発事業により、まちなか居住を促す。		【地域創造】岐阜大学医学部等跡地整備計画作成 【地域創造】(仮称)中央図書館等整備事業[つかさのまち夢プロジェクト] 【地域創造】駅周辺にぎわい拠点施設整備事業 【地域創造】建物移転補償事業 【地域創造】都心居住実現方策調査 【高次都市】学校統廃合等施設整備事業(公民館) 【高次都市】(仮称)市民活動交流センター[つかさのまち夢プロジェクト] 【既存建造物】明德公民館バリアフリー化事業 【地域生活】せせらぎ広場整備事業 【地域生活】(仮称)憩い・にぎわい広場整備事業[つかさのまち夢プロジェクト] 【地域生活】明德運動場広場整備事業 【高質空間】岐阜駅南口シェルター整備事業 【公園】加納公園整備事業 【関連事業】市街地再開発事業(柳ヶ瀬通北地区、問屋町西部南街区、高島屋南地区、岐阜駅東地区)
	■地区内の道路等の整備により、安全で快適な歩行者空間をつくる。	【道路】ゆとり・やすらぎ道空間事業 【道路】あんしん歩行エリア整備事業 【道路】電線共同溝事業(蕨城町玉宮町線) 【高質空間】道路修景整備事業 【高質空間】金公園拠点広場整備事業 【高質空間】御館街道整備事業 【高質空間】岐阜大学医学部等跡地歩道空間等整備事業[つかさのまち夢プロジェクト] 【高質空間】SWC推進事業(ウォーキングコース整備事業) 【地域創造】無電柱化事業
	■長良川周辺等の整備を行い、岐阜観光の魅力を高める。	【地域生活】長良川うかい広場施設整備事業 【地域生活】岐阜公園広場整備事業 【高質空間】長良川プロムナード(右岸)整備事業 【高質空間】岐阜公園スロープ整備事業 【高次都市】長良川うかい広場施設整備事業 【地域創造】信長公居館跡活用方針策定事業 【地域創造】岐阜公園歴史文化施設整備事業 【地域創造】歴史的建造物群景観形成助成事業
	■多様なまちづくり活動を支援し、都心再生に向けた長期的な取り組みを促す。	【まちづくり】まちなか文学散歩プロジェクト推進事業 【まちづくり】まちの魅力づくりプロジェクト推進事業 【まちづくり】建替え相談システム事業 【まちづくり】SWC推進事業(柳ヶ瀬健康ステーション健康活動支援事業、ウォーキング啓発事業) 【まちづくり】岐阜駅周辺地区開発・整備事業
	■公立小中学校の再編により教育環境を向上させ、併せて関連施設を耐震化し地域防災力強化を図る。	【地域創造】学校統廃合等施設整備事業(中学校)
その他		

交付対象事業費	9,516	交付限度額	3,616.8	国費率	0.380
---------	-------	-------	---------	-----	-------

提案事業															
	事業	細目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	交付対象 事業費		
							開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
まちづくり活動 推進事業		まちなか文学散歩プロジェクト推進事業	岐阜都心地区（駅北）	岐阜市	直	570ha	19	23	21	23	10	10	10	0	10
		まちの魅力づくりプロジェクト推進事業	柳ヶ瀬周辺地区	岐阜市	直	9ha	19	23	21	23	2	2	2	0	2
		建替相談システム事業	柳ヶ瀬周辺地区	岐阜市	直	9ha	19	23	21	23	2	2	2	0	2
		SWC推進事業（健康活動支援、ウォーキング啓発事業）	岐阜都心地区	岐阜市／実行委員会	直	725ha	23	25	25	25	30	18	18	0	18
		岐阜駅周辺地区開発・整備促進事業	岐阜都心地区	岐阜市	直	43ha	21	22	21	22	9	9	9	0	9
地域創造 支援事業		岐阜大学医学部等跡地整備計画作成	岐阜大学医学部等跡地	岐阜市	直	3.09ha	16	25	21	25	37	37	37	0	37
		〔仮称〕中央図書館等整備事業 〔つかさのまち夢プロジェクト〕	岐阜大学医学部等跡地	岐阜市	直	1棟	16	26	22	22	886	886	886	0	886
		無電柱化事業	燕城町・玉宮町	岐阜市	直	710m	22	26	22	24	35	35	35	0	35
		建物移転補償事業	岐阜駅周辺地区	岐阜市	直	3戸	21	24	21	24	608	608	608	0	608
		駅周辺にぎわい拠点施設整備事業	岐阜駅周辺地区	岐阜市	直	1棟	21	21	21	21	14	14	14	0	14
		信長公居館跡活用方針策定事業	岐阜公園	岐阜市	直	6.3ha	21	22	21	22	24	24	24	0	24
		岐阜公園歴史文化施設整備事業	岐阜公園	岐阜市	直	2.8ha	23	29	23	25	23	23	23	0	23
		都心居住実現方策調査	岐阜都心地区	岐阜市	直	100ha	21	22	21	25	24	24	24	0	24
		学校統廃合等施設整備事業（中学校）	岐阜大学医学部等跡地周辺地区	岐阜市	直	1箇所	21	23	22	23	2,005	2,005	2,005	0	2005
		歴史的建造物群景観形成助成事業	川原町地区	岐阜市	直	6.94ha	22	25	22	25	33	33	33	0	33
合計										3,742	3,729	3,729	0	3,729	
														合計(A+B)	9,519

[illegible]